

「白糸発電所」のリパワリング工事完了のお知らせ

このたび、東京発電株式会社(本店:東京都台東区 代表取締役社長:坂本 邦隆^{さかもと くにたか})は、平成 27 年 1 月に静岡県富士宮市佐折の「白糸発電所(大正 5 年 1 月運転開始)」のリパワリング工事に着手し、出力 650kW から 860kW(水車発電機:横軸フランシス水車, 三相同期発電機)に増出力を図り、平成 28 年 3 月 12 日に営業運転を再開いたしました。

これにより当社が関東甲信越に保有する 74 箇所の水力発電所の総出力は、185,628kW となります。

平成 27 年 1 月に着工した、静岡県富士宮市佐折の白糸発電所(大正 5 年 1 月運転開始)のリパワリング工事が完了し、3 月 12 日に運転を再開いたしました。

同発電所は、一級河川富士川水系の芝川より毎秒 4.174m³ を取水し、約 24m の落差を利用して最大 650kW を発電しておりました。この度、「水車発電機」「制御装置」「変電設備」「水圧管路」「発電所建物」を取替えるリパワリング工事を行い、同取水量のまま、水車発電機の効率向上等により 860kW へ増出力を図りました。

工事を計画するにあたり、これまでのフランシス水車 2 台を高効率のフランシス水車 1 台に取替え、巡視・点検等メンテナンス面で省力化を図ると共に、極力損失落差が少なくなる水車発電機のレイアウトとし、それに伴う放水路の付替えを行いました。

水路設備については、設備の健全性を確認のうえ、「取水設備」「導水路」「水槽」について一部修理のうえ流用いたしました。

白糸発電所は、運転開始から 100 年を迎え、「水車発電機等」の老朽設備を更新し、新たなスタートを切ると共に、既存の「取水設備等」については今後も的確なメンテナンスを行うことで、今後長期に亘り安定運転を継続してまいります。

今回のリパワリング工事により、当社が関東甲信越に保有する 74 箇所の水力発電所の総出力は、185,628kW となります。また、同発電所で発生した電気は、再生可能エネルギー固定価格買取制度により売電いたします。

当社は、引き続き地域社会と協調し、再生可能エネルギーの普及拡大とともに低廉で安定した電力の供給に努めてまいります。

【発電所概要】

- (1)最大出力:860 キロワット
- (2)水車:横軸フランシス水車 1 台
- (3)発電電力量:年間約 400 万キロワットアワー
(一般家庭約 1,300 軒分の年間使用電力量に相当)
- (4)発電所位置:静岡県富士宮市佐折

【問い合わせ先】

東京発電株式会社水力事業部事業総括グループ 角 Tel03-6371-5159

東京発電株式会社ホームページ: <http://www.tgn.or.jp/teg/>

【プレスリリース】

●水車発電機

リパワリング前



リパワリング後



水車発電機



水圧鉄管



発電所建物

白系発電所がある富士宮市は、世界文化遺産に登録された富士山をはじめ、富士箱根伊豆国立公園の特別地域に指定されている田貫湖や白糸の滝等、自然豊かな地域であります。

富士川水系芝川は、富士山からの湧き水である猪之頭湧水池を起点とし、富士川へ合流するまでの約23kmの一級河川です。芝川を起点とする水系には水力発電所が25箇所あり、そのうち当社は13箇所を保有し、白系発電所は上流域に位置しております。（当社のほかに一般電気事業者4箇所、自家用発電8箇所）